



碧南ロータリークラブ週報

第2305回例会 平成18年3月8日(水)

●会長 岡田 超勇 ●幹事 亀山 裕一 ●SAA 長田 豊治

■例会日 毎週水曜日 12:30

■例会場 碧南商工会議所ホール

■事務局 碧南商工会議所内

〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail:info@hekinan-rc.jp

■会報委員 杉浦昌裕・角谷信二・清澤聰之・岡本明弘

超我の奉仕



2005~2006年度
国際ロータリーのテーマ

● 齊唱

ロータリーソング「我らの生業」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

NPO法人 J.P.O.S.H副理事長・事務局長 松田寿美子氏

東京海上日動あんしん生命保険(株) 亀田昌映氏

高浜RC 鈴木政幸君、上井善美君



岡田超勇会長

会長挨拶

3月5日(日)に第33回市民駅伝大会が開催され、私も開会式に招待されました。当日は朝から素晴らしい天気に恵まれて、いよいよ春本番も近いのではないかと思いました。

今回は小学生の部が52チーム、一般の部72チーム、合計124チームの参加がありました。中でも豊川工業高校が3チーム招待され、大変盛大で有りました。思い越してみると、第1回市民駅伝大会は、ロータリー会員の樋山善久さんが、昭和49年に碧南青年会議所理事長の時に開催され、たしか16~18チームの参加であったと思います。今では碧南市にとって春を告げる重要なイベントの一つになったと思われました。

3月3日には、NHK衛星テレビで「日本で一番長い日」というタイトルで将棋の最後のA級順位戦が行われました。朝の10時から開局され、全部終わるのが夜中の1時30分過ぎと言うことで、大変力の入ったし烈な、又体力のいる将棋が指されました。A級のメンバーと言うのは、沢山のプロ棋士がいる中で上位10人の棋士で、方法はリーグ戦です。このリーグ戦で優勝すると名人戦の挑戦者になります。名人戦に勝つと名人になれます。しかし、この10人の内から成績の悪い人がB級へ降格になるという、大変し烈な戦いの場でもあります。プロ棋士としては、A級の10人の中に入るのが夢であります。名人位というタイトルは将棋の世界の中で一番権威のあるタイトルです。

幹事報告

- 先週開催の第9回理事会及び他クラブの例会変更等は別紙幹事報告の通りです。
- 深世古会員がこの度名東支店に転勤になり、退会されることになりました。次週退会のご挨拶をして頂きます。



亀山裕一幹事

- ・あおみJセンターの水野所長が代表となって「精神障がい者、その家族が安心し夢を持って暮らせるまちづくりの会（あん・くら・夢ネット）」の設立準備が進められています。この度水野所長よりこの設立準備会主催で開催される「ワタリ講演会」のチケット購入依頼がありました。1枚千円です。ご協力頂ける方は森さんまでお申し込み下さい。
- ・本日例会終了後、先週倉内環境保全委員長より説明のありました権田公園植樹事業の記念撮影を行います。役員・理事の皆さんはご出席下さい。

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 78名 (内出席免除者 14名)	出席者 68名
出席対象者 58／64名	出席率 90.63%
欠席者10名(病欠者0名)	前々回修正出席率 98.44%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

高浜R C 鈴木政幸君 本日はお世話になります。

長田 昌昇君 ネームプレートを持ち帰り忘れてきました。もうろくしてきました。

奥田 雪雄君 碧南市民駅伝大会に、新チームを結成し初参加させて頂きました。

角谷 信二君 本日の卓話の講師を紹介します。

清澤 聰之君 先週、長男が高校を卒業しました。春から、京都の大学へ行くことになりました。

〈ロータリー財団委員会〉

1. 事業計画達成

全会員の協力を得て、当初の計画を達成出来ました。会員の御理解・御協力どうも有り難うございました。

2. ガバナース・レター No. 8 からの情報伝達

地区R財団副委員長 深谷友博君 H17年11月に日本のR財団セミナー

地区補助金委員会委員長 平岩慎次君 各クラブで新しいプロジェクトを考えて下さい。

卓 話

「あなたとあなたの愛する人を乳がんから守るために」

NPO法人 J. POSH (日本乳がんピンクリボン運動)

副理事長・事務局長 松田寿美子 (所属クラブ：大阪そねざきロータリークラブ)

乳がんの罹患率は年々増加の一途をたどり、1996年には日本女性の悪性腫瘍の中で第一位になり、その数は2003年には38,000人に増加、これは日本女性の生涯年数の中で、22人に1人が乳がんになるといわれる数に相当し、2005年の推計数は41,000人といわれています。

死亡率は、欧米では1990年頃より年々減少していますが、日本では罹患率とともに増加の一途をたどり、2004年には10,000人以上の方が亡くなられています。しかし罹患率や死亡率の高さという現実がありながら、

日本女性やその女性を愛する家族・友人・恋人達の多くは「乳がんは他人事ではない」ということに気が付いていないのが現状です。

欧米で乳がん死亡率を低下させることに成功した理由は、乳がんについての啓発運動(ピンクリボン運動)の普及とマンモグラフィー検診による早期発見の普及です。

ロータリー公式標語「超我の奉仕」の精神に則り、「奉仕するものは行動しなければならない」と明記されている「社会奉仕1923年の声明」通り、碧南ロータリークラブの皆様にも、出来ることから結構ですのでNPO法人 J. POSHとともにピンクリボン運動をよろしくお願ひいたします。

NPO法人 J. POSH (日本乳がんピンクリボン運動) は「日本から乳がんで悲しむ人をなく



松田寿美子様

したい」という願いで立ち上げた、全国初のNPO法人認証を受けた、乳がん啓発活動市民団体です。

「受けようマンモグラフィー検診。乳がん早期発見で笑顔の暮らし」を合言葉に、乳がんについての啓発と情報提供、マンモグラフィー検診の普及促進、乳がん専門医療スタッフ育成への助成、患者と家族のサポートなどを目標にすべての女性、患者のみなさん、患者の家族のみなさんが涙を流すことのない社会・健康づくりをめざしています。

主な活動として

すべての女性には

- マンモグラフィー検診の普及促進活動の一環として、2004年度から、全国地方自治体にJ.P.O.S.Hピンクリボン基金（企業・団体・個人からの寄付支援、啓発グッズの購入支援）で購入した巡回車搭載型マンモグラフィー機器の寄贈を順次行い、寄贈市町村において、地域を検診車で巡回して行う乳がんマンモグラフィー集団検診実施の普及促進を行っております。
2004年度は神戸市に寄贈。2005年度は大阪市に寄贈。
- 乳がん・マンモグラフィー検診の正しい知識やピンクリボン運動について知って頂くために全国無料出前講演を実施
- 目のご不自由な方々のために、点字啓発リーフレット、朗読テープ、CDを作成し、全国の盲図書館、盲学校、盲老人ホーム等への寄贈、希望者への無料配布。
- HP (<http://www.j-posh.com>) にて、乳がん・マンモグラフィー検診・ピンクリボン運動についての様々な情報を提供。（全国マンモグラフィー機器設置病院一覧等）

患者さんのご家族には

患者さんとその家族へのサポート活動の一環として

- 乳がんになられたお母さんを持つご家族とその子どもたちのQOL向上のためのプログラム「ピンクリボンキッズ・ファミリープログラム」開催

患者さんには

- 乳がん専門家人材育成への助成活動として「J.P.O.S.H.B.C.N（乳がん専門看護師）育成特別奨学金制度」を実施

活動の趣旨等、詳細に関しては

J.P.O.S.H ホームページをご覧下さいませ。HPアドレス：<http://www.j-posh.com>



権田公園植樹事業

次回例会案内 平成18年3月22日（水）

卓話「趣味の写真」会員 神谷 研君